



社団法人 日本病理学会
 〒 113-0033
 東京都文京区本郷 2-40-9
 ニュー赤門ビル 4F
 TEL: 03-5684-6886
 FAX: 03-5684-6936
 E-mail jsp-admin@umin.ac.jp
 http://jsp.umin.ac.jp/

社団法人日本病理学会

第 286 号

平成 23 年 (2011 年) 11 月刊

1. 平成 23 年度学術奨励賞受賞候補者の推薦について

社団法人日本病理学会学術委員会は、平成 23 年度学術奨励賞受賞候補者の推薦を以下のとおり募集いたします。

平成 23 年 11 月
 社団法人日本病理学会
 理事長 青 笹 克 之
 学術委員長 佐 藤 昇 志

学術奨励賞は、病理学の基礎的研究あるいは診断業務の中で特に優れた学術的貢献を行った本学会若手会員に対して与えられる賞です。

受賞対象者は、その年度末 (3 月 31 日) 段階で 3 年以上の会員歴を持つ 40 歳以下の会員としています。

学術評議員各位には、下記の要領で候補者の推薦をお願いいたします。

推 薦 要 領

1. 本年度は、数名への授与を予定しています。
2. 募集締切り期日は、平成 24 年 1 月 31 日 (当日消印有効) とします。
3. 候補者の推薦にあたっては、日本病理学会ホームページよりダウンロードした所定の書式をご利用の上、書留郵便にて日本病理学会事務局までご送付ください。ダウンロードできない場合には本学会事務局までご請求ください。
4. 学術奨励賞受賞者には、賞状と記念品が贈呈されます。
5. 賞の授与は、次年度の総会において理事長が行います。

なお、本件について、ご質問などがありましたら、本学会事務局までお問い合わせください。

2. 新学術評議員の推薦について

下記の本学会学術評議員資格に照らし合わせて、学術評議員として適当と思われる会員がありましたら、別紙の書式を用いてその候補者の所属機関、職名、略歴並びに業績目録をそえ、推薦者 2 名連署のうえ、平成 24 年 1 月 31 日までに学会事務局あて書留にてお送り下さい (申請書/推

薦書はホームページよりダウンロードして下さい)。

各位よりご推薦のありました候補者につきましては、資格審査委員会による審査を経て、理事会にて学術評議員として適当であるかを審議し、認められた候補者を春期総会時に開催されます学会総会にて承認を受けることとなります。

学術評議員資格

1. 病理研究歴満 7 年以上、会員歴 5 年以上の会員で以下の条件の一つを満たすもの
 - A. 病理学 (学際分野を含む) に関する原著論文 3 編以上で、少なくとも 1 編の筆頭著者である者
 - B. 病理専門医あるいは口腔病理専門医資格取得者で論文発表の筆頭著者 1 編以上である者
 - C. 入会歴 5 年以上を満たさないが、傑出した業績を上げていると資格審査委員会で認められた者

注: 1) 論文は和文・英文を問わない

2) 病理専門医あるいは口腔病理専門医の論文は症例報告を含む

3. 日英病理学会交流事業について (公募のお知らせ)

英国病理学会との交流事業につき、下記の要領にて公募いたします。

記

(1) 英国病理学会への派遣 (第 3 回)

2012 年英国病理学会 (英国シェフィールド市 2012 年 7 月 2 日～7 月 5 日) にて特別/教育講演およびポスター発表への参加を行う。

Senior Pathologist 1 名 (渡航費および英国滞在費・学会参加費は英国病理学会負担)

- ・7 月 5 日午前中に 60 分間の特別/教育講演を行う。
- ・講演内容は人体病理学の研究、実践内容のどちらでもよいが、英国病理学会会員の聴衆に平易に話し講演内容を十分に理解してもらい、質疑応答もある程度スムーズにこなせる英語力を有する講演者が望まれる。

Junior Pathologist 2 名 (渡航費については日本病理学会より 1 人 15 万円の補助、英国滞在費・学会加費は英国病理学会負担)

- ・ポスター発表を行うこと。

対象者：Senior Pathologist 日本病理学会学術評議員
Junior Pathologist（原則としてこれから病理専門
医を受験しようとする者）

応募方法：英文の演題の abstract（400 words 程度）を提出する。

提出先：東京都文京区本郷 2-40-9 ニュー赤門ビル 4F
社団法人日本病理学会事務局

締め切り：平成 23 年 12 月 28 日

参加者の選考は国際交流委員会で行います。

本件につきましてご質問がありましたら、日本病理学会事務局または国際交流委員長までお問い合わせください。

日本病理学会事務局：

TEL 03-5684-6886 FAX 03-5684-6936

国際交流委員長（笹野公伸）：

TEL 022-717-7450 FAX 022-273-5976

4. 平成 24/25 年度役員（理事・監事）の選出について（お知らせ）

平成 23 年 11 月

社団法人日本病理学会
選挙管理委員長 松原 修

社団法人日本病理学会選挙管理委員会は、平成 24/25 年度役員（理事・監事）選出のため、役員立候補の公募・選挙を実施し、所定の役員を選出決定（記の 1）しましたので報告いたします。なお、このたびの役員・理事長選挙は、下記の日程で行われました。なお今回の選挙より、選挙人は学術評議員のみとなりました。

○第 1 回委員会（6 月 7 日）：役員選挙の公示文書および選挙の概要の確認。

6 月 15 日付けにて、役員候補者の公募を通知（理事締切り 7 月 13 日 監事締切り 7 月 20 日 同時に所信表明の受付）。

○第 2 回委員会（7 月 25 日）：役員立候補者の確認および投票用紙等の確認。

8 月 12 日付けにて、立候補者が定員を超えた選出区分において選挙公示。学術評議員 1,520 名（8 月 5 日現在）による投票（9 月 7 日消印有効）。

○第 3 回委員会（9 月 13 日）：役員選挙開票・選出（記の 2）。ただし、役員立候補者が定員内の選出区分については、無投票当選者を確認・選出（記の 3）。理事長選挙への所信表明の公募（9 月 27 日締切）。

○第 4 回委員会（9 月 14 日）：理事長選挙所信表明の文字数変更の検討（選挙管理委員長以外はメール会議）。現行の 400 字から 800 字～1,000 字。

○第 5 回委員会（9 月 28 日）：理事長選挙の公示文書の確認（選挙管理委員長以外はメール会議）。10 月 7 日付けにて、理事長選挙の公示。学術評議員 1,523 名（10 月 1 日現在）による投票（10 月 21 日消印有効）。

○第 6 回委員会（10 月 26 日）：理事長選挙開票・選出（記の 4）。

記

1. 平成 24/25 年度役員（理事・監事）選出

理 事 長	深 山	正 久
理 事	伏 木	信 次
理 事	笠 原	正 典
理 事	加 藤	良 平
理 事	黒 田	誠 道
理 事	根 本	則 道
理 事	野 島	孝 之
理 事	落 合	淳 志
理 事	小 田	義 直
理 事	岡 田	保 典
理 事	笹 野	公 伸
理 事	白 石	泰 三
理 事	高 橋	雅 英
理 事	上 田	真喜子
理 事	八木橋	操 六
理 事	山 口	朗
理 事	安 井	弥 生
理 事	横 山	繁 正
理 事	吉 野	正

監 事	井 藤	久 雄
監 事	中 沼	安 二

（氏名は、役名ごとに ABC 順で記載）

2. 役員選挙投票結果

(1) 選出区分 2 全国区選出理事 定員 11 名（記載は得票順）

1	黒田 誠	464 票	当選
2	深山 正久	410 票	当選
3	小田 義直	371 票	当選
4	高橋 雅英	326 票	当選
5	上田真喜子	321 票	当選
6	安井 弥	306 票	当選
7	根本 則道	305 票	当選
8	笹野 公伸	274 票	当選
9	白石 泰三	271 票	当選
10	岡田 保典	257 票	当選
11	落合 淳志	241 票	当選
12	福本 学	232 票	次点
13	樋野 興夫	208 票	
14	仲野 徹	190 票	

(2) 選出区分 4 監事 定員 2 名（記載は得票順）

1	中沼 安二	503 票	当選
2	井藤 久雄	431 票	当選
3	八尾 隆史	368 票	次点
4	金井 弥栄	337 票	

学術評議員数：1,520名（8/5現在）

投書数（投票率）933通（61.4%）有効投書数930通
無効投書数3通（期限切れ）

選出区分2 全国区選出理事

投票数 4,650票：930通×5票
（有効票：4,176票 白票：457票 無効票：17票）

選出区分4 監事

投票数 1,860票：930通×2票
（有効票：1,639票 白票：213票 無効票：8票）

3. 無投票当選者

(1) 選出区分1 地方区選出理事（7名）

1-1	北海道	笠原 正典	当選
1-2	東北	八木橋操六	当選
1-3	関東	加藤 良平	当選
1-4	中部	野島 孝之	当選
1-5	近畿	伏木 信次	当選
1-6	中国四国	吉野 正	当選
1-7	九州沖縄	横山 繁生	当選

4. 理事長選挙結果（記載はABC順）

1	深山 正久	406票	当選
2	伏木 信次	4票	
3	笠原 正典	1票	
4	加藤 良平	6票	
5	黒田 誠	301票	次点
6	根本 則道	3票	
7	野島 孝之	3票	
8	落合 淳志	2票	
9	小田 義直	6票	
10	岡田 保典	15票	
11	笹野 公伸	4票	
12	白石 泰三	1票	
13	高橋 雅英	5票	
14	上田真喜子	257票	
15	八木橋操六	2票	
16	山口 朗	1票	
17	安井 弥	6票	
18	横山 繁生	3票	
19	吉野 正	9票	

学術評議員数：1,523名（10/1現在）

投書数（投票率）1,046通（68.7%）

有効投書数1,040通 無効投書数6通（期限切れ4通，無記名2通）

有効票1,035票 白票：3票 無効票：2票

5. 選挙管理上の反省と今後の課題について

これは、23.11.16理事会へも報告した。

- (1) 集計ミスなどなく順調に行われた点はよかった。
- (2) 結果を早くHPへ掲載して、学会員に知らせるこ

とができたのはよかった。

- (3) 理事候補者、理事長候補者の情報、つまり所信表明以外に、生年月日、出身大学、卒業年、簡単な経歴、病理学会への具体的な貢献などについて、選挙人へ広く知らせ、投票の資料にしてもよいのではないか。
- (4) 選挙管理委員が事務局員と一緒に鉄で封筒を切り開票するという作業よりは、電子投票のシステム導入を考えた方がいいのではないか。直ちに導入できるわけではないので、2年後に向けて準備を始めるのがよいのではないか。

以上

選挙管理委員は当初、松原 修（防衛医大）、黒住昌史（埼玉県立がんセンター）、藤盛孝博（独協医大）、八尾隆史（順天大）、森井英一（大阪大）であったが、八尾隆史氏が監事に立候補したので、直ちに内藤善哉（日本医大）に交代した。

会 員 各 位

平成 23 年 11 月
理 事 長 青 笹 克 之
学術委員長 佐 藤 昇 志

第 58 回（平成 24 年度）日本病理学会秋期特別総会 学術研究賞演説（A 演説）、B 演説について（公募のお知らせ）

平成 24 年秋開催予定の第 58 回日本病理学会秋期特別総会における学術研究賞演説（A 演説）と B 演説の募集をしております。

これら演説の応募内容は、以下の要件を満たすことといたします。

学術研究賞演説（A 演説）

- (1) 優れており、かつ蓄積された研究であること。
- (2) 原則として日本国内で行われた研究であること。
- (3) 内容に関する責任の明確な研究者による発表で、内容は共同研究によるものであっても発表者自身はそれを代表するものであること、従って単独名が望ましい。

B 演説

- (1) 症例報告または症例の蓄積による解析。

学術研究賞演説（A 演説）、B 演説担当者として講演することを希望する会員は、下記の要領でご応募ください。

記

学術研究賞演説（A 演説）

- (1) 応募資格：日本病理学会員でありかつ学術評議員による推薦を受けた者。ただし、応募者自身が学術評議員である場合、自薦で可とする。
- (2) 提出書類：
 - ・日本病理学会ホームページよりダウンロードした所定の書式に、応募者名、演題名、選考用抄録（800 字以内）などを記載し、推薦学術評議員の自署・捺印を受けてください。ダウンロードできない場合は、日本病理学会事務局までご請求ください。
 - ・講演内容に直接関係のある自著論文 20 編以内の一覧。
 - ・代表的な自著論文 5 編以内の別刷各 3 部（コピー可）。
- (3) 提出先：〒 113-0033 東京都文京区本郷 2-40-9 ニュー赤門ビル 4F
社団法人日本病理学会事務局
「学術研究賞演説（A 演説）応募抄録」と表記し、書留郵便により郵送してください。
- (4) 募集締切：平成 24 年 1 月 31 日（当日消印可）

B 演説

- (1) 応募資格：学術研究賞演説（A 演説）に同じ。
- (2) 提出書類：
 - ・日本病理学会ホームページよりダウンロードした所定の書式に，応募者名，演題名，選考用抄録（800 字以内）などを記載し，推薦学術評議員の自署・捺印を受けてください。ダウンロードできない場合は，日本病理学会事務局までご請求ください。
- (3) 提出先：学術研究賞演説（A 演説）に同じ。「B 演説応募抄録」と表記し，書留郵便により郵送してください。
- (4) 募集締切：学術研究賞演説（A 演説）に同じ。

以上

第 58 回日本病理学会秋期特別総会における学術研究賞演説（A 演説），B 演説担当者は，平成 24 年 2 月の学術委員会において厳正・公明に選考し，同日の理事会での審議によって決定いたします。

本件についてご質問がありましたら，日本病理学会事務局または学術委員長までお問い合わせください。

社団法人日本病理学会事務局：TEL 03-5684-6886 FAX 03-5684-6936

学術委員長（佐藤昇志）：TEL 011-613-8374 FAX 011-643-2310

2012年 細胞診講習会のお知らせ

2012年の細胞診講習会（社団法人病理学会，担当：病理専門医制度運営委員会）のお知らせをいたします。病理専門医受験資格の要件のひとつとして細胞診に関する講習会を受講していることがあげられております。2012年以降受験予定の方で，未だ細胞診講習会を受講されていない方は，この講習会を受講して下さい（支部主催の講習会は，受験資格に認められておりません）。受講希望者は，下記申込み用紙にて学会事務局宛お申し込み下さい。なお，定員は原則として70名ですが，70名を越える場合は下記6に示す基準に従って選定させていただきます。

なお，2012年の病理学会主催の細胞診講習会は今回1回のみです。

- 日 時：2012年3月10日（土） 9:00～18:25（第1日：受付，講義，検鏡）
2012年3月11日（日） 8:45～14:30（第2日：講義，検鏡）
- 講 師：小山 徹也（群馬大学大学院病理診断学病理部）
清川 貴子（千葉大学大学院医学研究院病態病理学）
清水 禎彦（埼玉県立循環器・呼吸器病センター病理診断科）
鷹橋 浩幸（東京慈恵会医科大学病理学講座）
中村 直哉（東海大学医学部病理診断学）
福永 真治（東京慈恵会医科大学附属第三病院 病院病理部）
土屋 眞一（日本医科大学附属病院 病理部）
内藤 善哉（日本医科大学病理学講座；統御機構・腫瘍学）
- 会 場：東京都文京区本郷7-3-1 東京大学医学部二号館（本館）小講堂，総合実習室
世話人【東京大学医学部附属病院病理部・深山正久】
- 受 講 料：33,000円（ハンドアウト・CD-ROM・昼食代込み）
採用通知とともに振替用紙をお送りします（2月中旬）。
- 申込締切：2012年1月27日（金）
- 受講者の選定基準：1. 2012年病理専門医試験を受験する方
2. 2013年以降に病理専門医試験を受験する方
*1,2を優先（未受講者）としますが，それ以外の方の受講も配慮します。
- 申し込み，問い合わせ先：社団法人日本病理学会事務局
〒113-0033 東京都文京区本郷2-40-9 ニュー赤門ビル4F
TEL：03-5684-6886 FAX：03-5684-6936

----- き り と り 線 -----

日本病理学会病理専門医制度運営委員会 2012年 細胞診講習会 申し込み用紙

氏 名： _____ 会員番号： _____
生年月日： _____年 _____月 _____日 病理専門医番号： _____
2012年の日本病理学会病理専門医試験： 受験する 受験しない
2013年以降の日本病理学会病理専門医試験： 受験する 受験しない 未定
所属機関： _____
同 住 所： 〒 _____
同電話番号： _____ FAX 番号： _____ E-mail： _____